教えてください、あなたのこと㉕

つなげるつながる会員さん

神奈川県逗子市　松本 真知子さん（逗子ゼロ・ウェイストの会代表）

Q 差し支えなければ、年齢、出身地を教えてください。

A 64 才。神奈川県逗子市に生まれ育ち、暮らしてきました。

Q ごみ問題に関心を持つようになったのは…？

A 1978 年より京都・スウェーデン・盛岡で羊毛の手紡ぎ・染織を学び、逗子で織工房を主宰して、手紡ぎ・植物染色・手織教室やホームスパンの服地やマフラーなどの作品販売をしていました。新しい物を作り多くの方に買っていただきましたが、1992 年頃より沢山の古着や古キモノがごみとして燃やされているのを知り、生活クラブ生協でファイバーリサイクルに取り組み、自宅工房でも裂織教室を始めました。それ以降、行政のごみ処理のあり方、ダイオキシン問題、ごみ処理広域化に関心を持つようになりました。

Q 「ごみ・環境ビジョン 21」に入会してくださったきっかけを教えてください。

A 確か元ごみかん理事の服部美佐子さんに 13 年ほど前、逗子で講演をしていただいてからかな。長いつきあいになっていますね。

Q ごみ問題に関すること以外に、趣味や生きがいは何ですか？

A ごみが趣味と公言していますが、晴れた日の暇な午前中は、ソーラークッキング（ソーラークッカーをデモンストレーション用も含め大小 5 個も持っている！）をしています。お湯を沸かしたり，イモを無水蒸ししたり…。

また、東北の山奥の温泉巡りや、地元の逗子にできた新しい飲食店の食べ歩きも好きですね。

Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A 『逗子ゼロ・ウェイストの会』と逗子市役所資源循環課との市民協働事業として 2012 年にスタートしたエコ広場が市役所から近くの市民交流センターに移りました。また、出張エコ広場が 2013 年のスタート時の 2 ヶ所から 4 カ所に増えました。

（編集部注：エコ広場の詳しい情報はごみっと 100 号に。HPから見られます。または「ずしゼロ・ウェイストWEB」で検索）

Q ごみかんに期待したいこと、あるいは提案したいことをお聞かせください。

A いつも，質の高い市民ごみ大学セミナーなどを開いていただき、参加すると、とても刺激的で勉強になります。また、必ず報告書を出されていてすごいなと思います。私たちは、講演会とか開いてもやりっ放しで報告書までは全く出せない。ぜひ続けて下さい。